

ラック搭載手順

ラックに付属の資料をよくお読みのうえ、安全とケーブル接続についての情報を確認してください。ラックにストレージ・サブシステムを取り付ける際は、以下について考慮してください。

- 装置をラックに取り付けるには複数の人員が必要です。装置を 1 人で持ち上げる場合、また取り付けを容易にするために装置の重量を減らす場合は、ストレージ・サブシステムからすべてのコンポーネントとフィラー・パネルを取り外します。
- 室温は 35°C 以下になるようにしてください。
- 通気を阻害しないようにします。排気を適切に行うには、通常、背面からは 15 cm の通気スペースを空け、前面には 5 cm のスペースを確保します。
- ラックに取り付けた装置の上部または下部をオープン・スペースのままにしておかないでください。装置コンポーネントへの損傷を防ぐために、常に空のフィラー・パネルを取り付けてオープン・スペースをカバーし、適切な空気循環が行われるようにします。
- 取り付け時には作業しやすいようにラックのドアとサイド・パネルを取り外しておきます。
- 装置の取り付けはラックの下部から開始するように計画します。
- 最も重い装置をラックの一番下に取り付けます。
- 複数の装置がラックから同時にはみ出さないようにしてください。
- すべての電源コードは、正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。
- ラックに複数の装置を取り付けるときは、電源コンセントが過負荷とならないように予防措置を取ってください。



装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。



≥18 kg



≥32 kg



≥55 kg



ラックに装着された装置の上には 50 kg を超えるものは置かないでください。



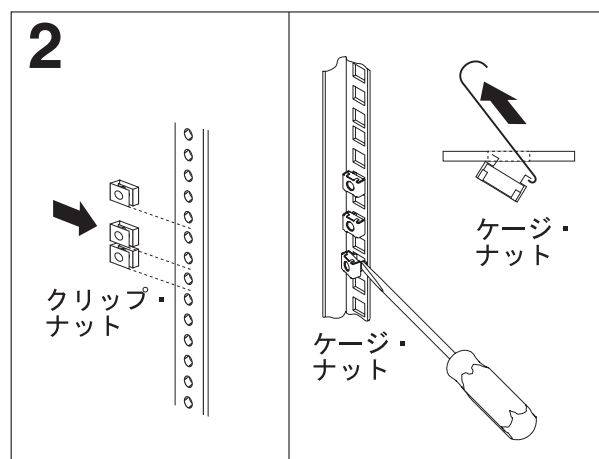
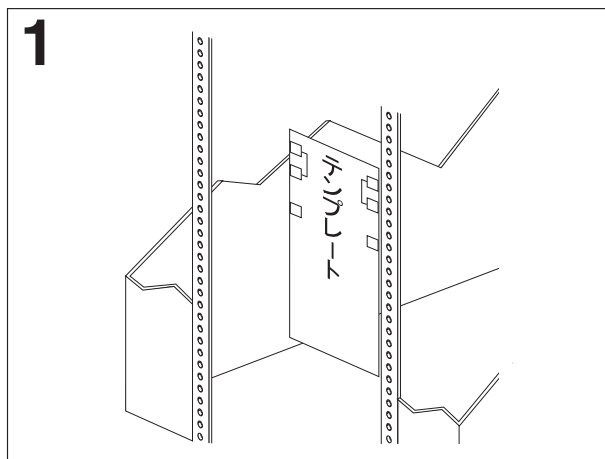
≥50 kg

取り付け時には、マイナスのドライバーとプラスのドライバーが必要です。以下は、ラック取り付けキットに付属の品目リストです。欠落または損傷がある場合は、購入先へご連絡ください。

- ケージ・ナット (10)
- クリップ・ナット (10)
- M6 六角ねじ (10)
- レール・アセンブリー、右側 (1)
- レール・アセンブリー、左側 (1)

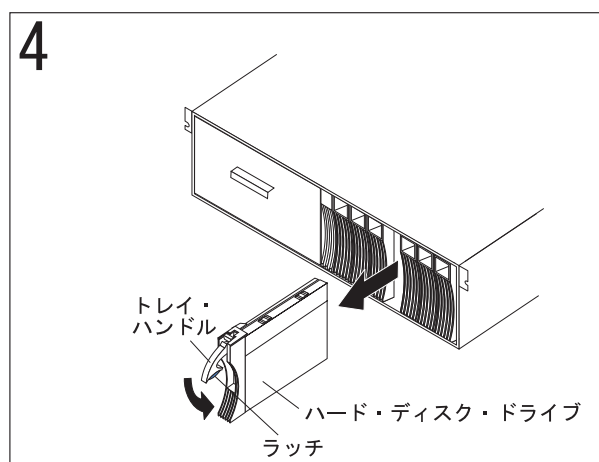
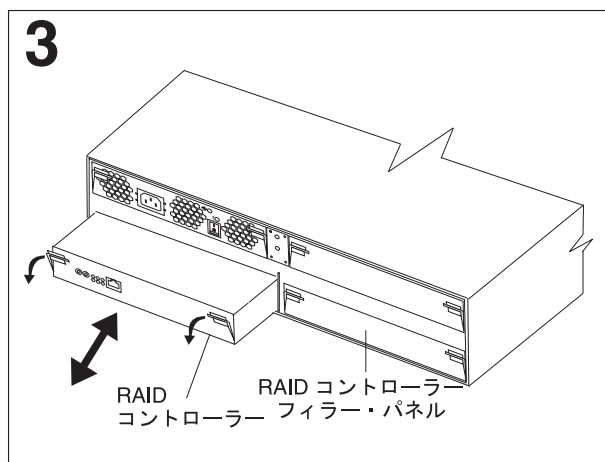
注: 静電気に弱い装置を取り外す際の取り扱いガイドラインについては、ご使用のストレージ・サブシステムの資料を参照してください。

重要: 電源機構、コントローラー、ハード・ディスク、フィルター・パネルなどのコンポーネントのいずれかを取り付ける場合、ストレージ・サブシステムではそれらを持ち上げるために複数の人員が必要となります(本書の最初のページの重量制限を参照)。装置を 1 人で持ち上げる場合、また取り付けを容易にするために装置の重量を減らす場合は、ストレージ・サブシステムからすべてのコンポーネントとフィルター・パネルを取り外します。ステップ 3、4、および 5 はコンポーネントの取り外し方法の説明です。



付属のラック・マウント用テンプレートを使用して、前部および後部のラック・マウント用フランジの穴を位置指定します。テンプレート上に表示されている「bezel」という文字は無視してください。

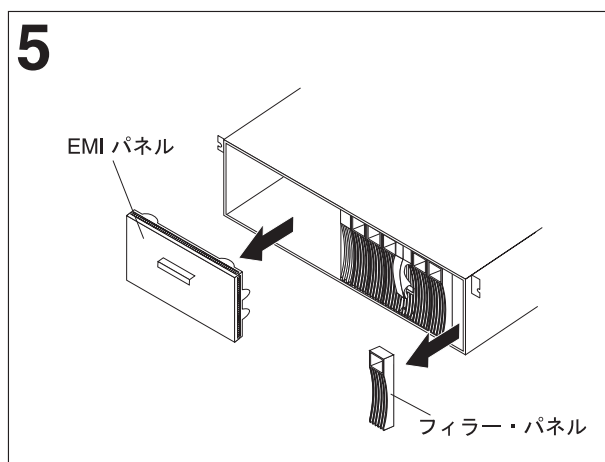
ご使用のラックで必要な場合は、ケージ・ナットまたはクリップ・ナットを取り付けます。ケージ・ナットを取り付けるにはマイナスのドライバーを使用します。



背面からコンポーネント (RAID コントローラー、ファン付き電源機構、またはフィルター・パネル) を取り外すには、次の手順を実行します。

1. コンポーネントの両サイドのラッチとレバーを一緒につかんで、各ラッチのオレンジ色のエリアに押し下げます。コンポーネントがスライドしてベイの外側に少し出ます。
2. 両方のラッチをつかんでコンポーネントをベイから引き出します。

他のコンポーネントについても背面でこのステップを繰り返して、後で取り付ける場合に備えてすべてのコンポーネントを取っておきます。



残りのハード・ディスク・ベイからフィルター・パネルを取り外します。ストレージ・サブシステムの片側にある、7 つのハード・ディスク・ベイのすべてが空のパネルでカバーされている場合、ハンドルをつかんで引っ張り、そのパネルを取り外します。

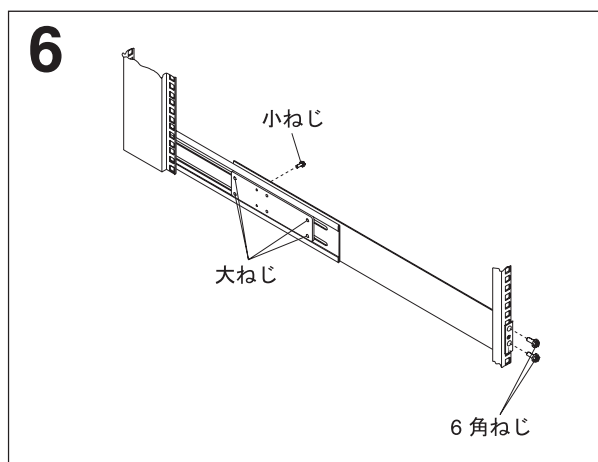
ストレージ・サブシステムにベゼルが取り付けられている場合、この時点で取り外してください。手順については、「*IBM TotalStorage DS300 および DS400: 取り付けとユーザズ・ガイド*」を参照してください。

ハード・ディスクを取り外すには、ラッチを押しハンドルを押し上げて、ストレージ・サブシステムからドライブを慎重に引き出します。

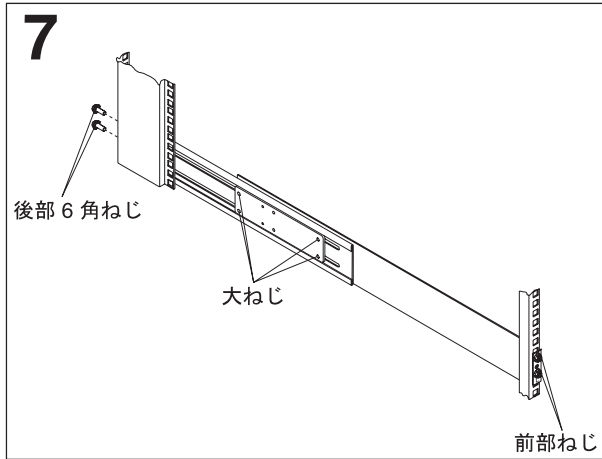
注:

1. ハード・ディスクを取り出す前に、その位置に印をつけて、同じ場所に再度取り付けできるようにしておきます。
2. ハード・ディスクは丁寧に取り扱い、積み重ねないようにします。静電気に弱い装置については、あらゆる予防措置をとってください。

すべてのハード・ディスクについてこのステップを繰り返します。

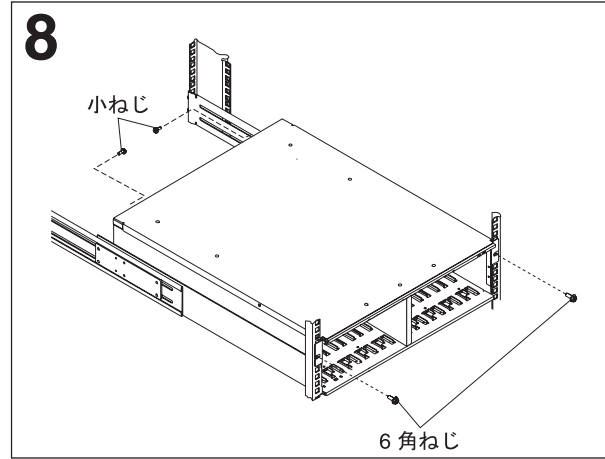


L とマークされたレールで、小ねじを外して保管します。次に、4 つの大ねじを緩めます。左側のラック・マウント用フランジの外側に立てかけてレールを保持し、前部から M6 六角ねじを緩めに挿入します。



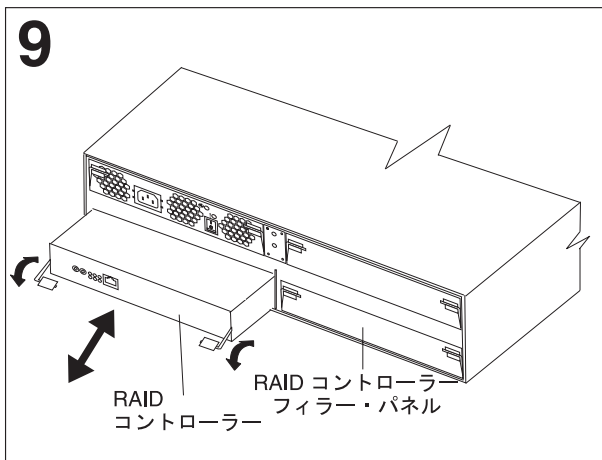
後部のラック・マウント用フランジの外側ヘールを延ばし、両方の後部用の M6 六角ねじを取り付けてきつく締めます。

ラックの右側の R とマークされたレールについても、ステップ 6 および 7 を繰り返します。



ストレージ・サブシステムをラックの奥までスライドさせてから、2 個の六角ねじでストレージ・サブシステムの前部を固定します。

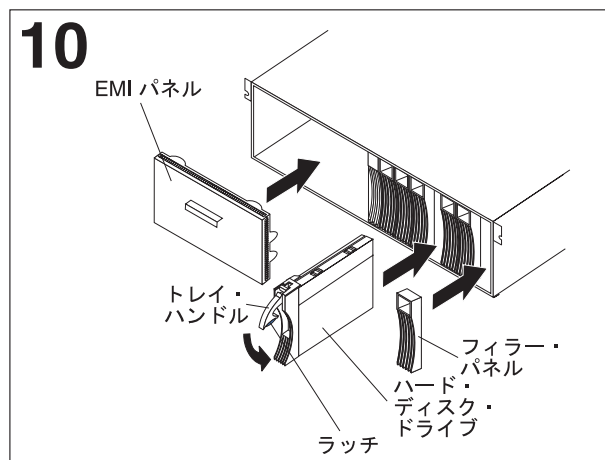
シャーシの背面の両サイドのスロット穴に、ステップ 6 および 7 で取り外した 2 個の小ねじを挿入し、ストレージ・サブシステムの背面を固定します。



背面からコンポーネント (RAID コントローラー、ファン付き電源機構、またはフィルター・パネル) を取り付けるには、次の手順を実行します。

1. コンポーネントの両サイドのレバーがいっぱいまで下がっていることを確認してから、コンポーネントをベイの奥まで (シャーシの端から約 6 mm) 押し込みます。
2. ラッチとレバーを一緒につかみながら、両方のラッチをいっぱいまで押し上げます。コンポーネントはベイの中へと自動的にスライドします。

他のコンポーネントについても、背面からこのステップを繰り返します。



ステップ 4 および 5 で取り外した、ハード・ディスクおよびフィルター・パネルを取り付けます。

注:

1. ハード・ディスクのハンドルが完全に開いていることを確認してから取り付けてください。
2. ドライブおよびフィルター・パネルは、必ず取り外した場所と同じベイに取り付けてください。

ベゼルを取り付けます。手順については、「*IBM TotalStorage DS300* および *DS400: 取り付けとユーザーズ・ガイド*」を参照してください。

外部ストレージ・サブシステムの資料を参照して、取り付けを完了してください。この資料は、将来の使用に備えて、ご使用のストレージ・サブシステムの資料と一緒に保管しておいてください。

第1刷 2004.10

Printed in China

IBM および TotalStorage は IBM Corporation の商標です。

© Copyright International Business Machines Corporation 2004. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2004

(1P) P/N: 25R6819

